

企業版ふるさと納税のお願い



リサイクルの町から
世界の未来をつくる町へ

OSAKINI PROJECT



鹿児島県 大崎町

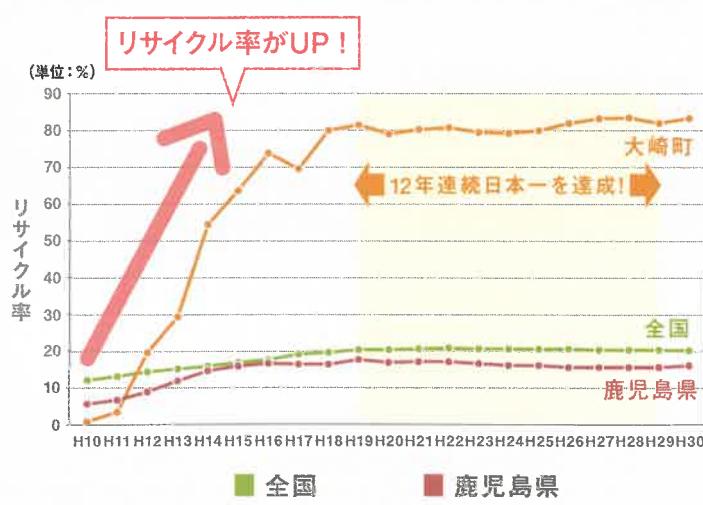
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ



これまでの大崎町のあゆみ

▶大崎町のリサイクル率の推移



リサイクル率日本一 「大崎システム」

いまから20年ほど前、ごみの増加に伴い、埋立処分場が使用予定期限を待たずに満杯になるという現実を突きつけられた大崎町。埋立処分場を新たに造るか、焼却炉を新しく設けるか。住民との対話を重ね、徹底したごみ分別により埋立処分場を延命化する道を選びました。ごみの分別とリサイクルを進め、「燃やさない」ことを決断しました。

住民・企業・行政が一丸となり、リサイクルをスタート。現在は住民がごみを28品目に分別することによりリサイクル率80%以上を保つことに成功しています。その中でも特徴的な取り組みとして、ごみの60%を占める生ごみ・草木等の有機物を、100%堆肥化し、町内の農地に循環させる仕組みができあがりました。

リサイクルは、もちろん最初からうまくいったわけではありません。しかし、根気よく活動することで理解がうまれ、生活に根付く分別活動は、いまでは外部から注目され、町の誇りになっています。

これが、大崎町が世界に誇る「大崎システム」です。

▶数値で見る大崎町のリサイクルの実績

リサイクル率
15回日本一
(2006-2017, 2019-2020, 2022)

2018年
ジャパンSDGs
アワード受賞
(内閣官房長官賞)

リサイクル率
80%以上

生ごみ・草木
の堆肥化
100%

最終処分場の残余年数
40年以上
(全国の最終処分場の残余年数は平均23.4年)

※2022年度環境省調べ

世界への展開



住民・企業・行政が協働して構築した大崎システムは、いまや日本を飛び出し、世界への展開が始まっています。JICA国際協力機構の「草の根技術協力事業」を通じて、2012年からの3年間、インドネシアのデボック市、2015年からの2年間、バリ州デンパサール市でそれぞれ大崎システムを導入する支援を行いました。今までインドネシアでは、ごみのほとんどは分別されず、全てのごみが埋立処分場に運ばれていました。そこで少しでもごみを減量化し、処分場を延命化するべく大崎町の分別の仕組みを取り入れることに。行政職員や民間のスタッフが現地へ赴き、分別の必要性を繰り返し伝え、インドネシアからも行政や住民など立場の異なるメンバーで構成された視察チームが大崎町を訪問しました。その結果、生ごみの堆肥化が進み、埋立てごみを30%近く減量化することに成功。今後はジャカルタでも、大崎システムの本格的な導入が進む予定です。

OSAKINI PROJECT

リサイクルの町から
世界の未来をつくる町へ



大崎町のこれから
の挑戦

OSAKINI プロジェクトを推進する
大崎町 SDGs 推進協議会メンバー

大崎町
株式会社南日本放送
鹿児島相互信用金庫
株式会社そらのまち
合作株式会社



ふるさとたっぷり
MBC南日本放送



Gassaku

「OSAKINI プロジェクト」とは、大崎町を舞台に、
持続可能な未来をつくるプロジェクトです

- ・研究、開発 (Laboratory)
- ・人材育成 (School)
- ・情報発信 (Media center)

の3つの柱で、SDGsに取り組む人・企業の皆さん
とともに大崎町から世界に、新しい社会のカタチ
を実装していきます。

町長からのメッセージ

東靖弘 (大崎町長)

埋立処分場の延命化のため多品目に分別すると決めた当時、初めにおこなったのは住民のみなさんへの説明会です。計450回、みなさんとの都合の合う日時と場所に職員がお出向き、分別の必要性をお伝えしてきました。大崎システムと呼ばれるリサイクルの取り組みは、こうした住民のみなさんの理解と協力によって進められてきたものです。最近では国内の自治体や海外からの注目も集まり、世界に誇れる仕組みになっています。いま大崎で暮らす子どもたちが町外に進学したり働きに出たりしたときは、それぞれの地域の分別やルールに戸惑うこともあるでしょう。けれど、資源を大切にする心を忘れず、その地域のリサイクルの取り組みを引っ張る、リーダーになってほしいと思っています。子どもたちだけでなく、世界から見た大崎町が、持続可能な社会を構築する先駆者でありたい。すでに大崎システムをインドネシアへ展開していますが、こうした動きが一層求められると感じています。各国がカーボンニュートラルの実現を目指すと宣言し、循環型社会へ舵を切っています。こつこつと続けてきた町内のリサイクルはもちろん「環境問題に取り組んでいる先進自治体といえば大崎だ」と世界中から認知されるよう、今までの取り組みの付加価値を、さらに高めていきます。ぜひ皆様の力を貸しください。



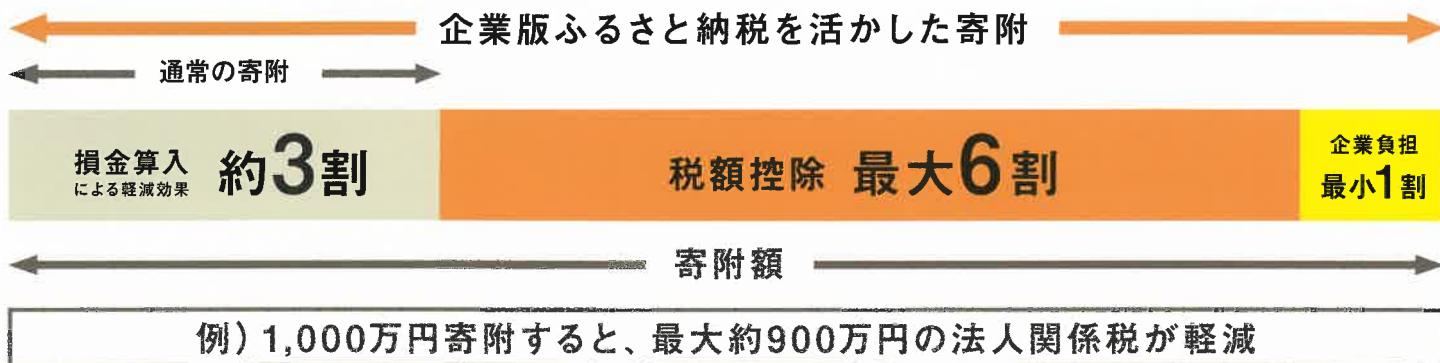
OSAKINIプロジェクトを 企業版ふるさと納税で支援しませんか？

大崎町が目指す持続可能な未来を構築するため、企業版ふるさと納税の仕組みを活かし、企業さまや研究者の方々と連携・協働しながら、新しい社会のカタチの実装に向けた取り組みを進めていきます。

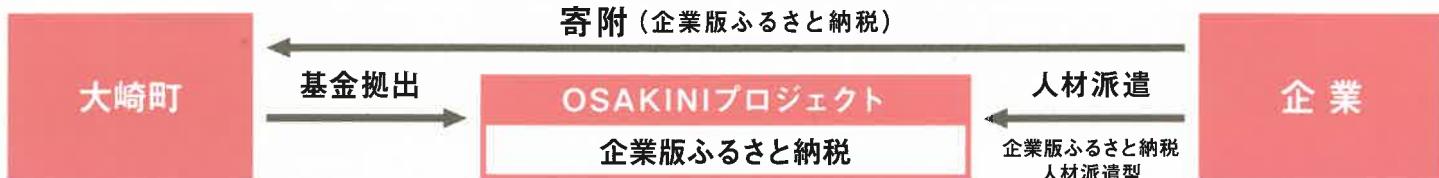
企業版ふるさと納税のメリット

1. 節税効果

大崎町への寄附金は、最大で6割を法人関係税から税額控除できます。
損金算入による節税効果と合わせて、最大で約9割の税額控除が見込めます。



2. 先進事例を構築



- ① 寄附金は OSAKINI プロジェクトを展開するための資金として活用させていただきます。
- ② 企業版ふるさと納税人材派遣型を活用してプロジェクトに人材派遣を行い、協働で事業を実施できます。
- ③ 企業さまと大崎町との協働で、未来の社会システムを構築する研究・実証事業も展開できます。

まだどこにもない仕組みやプロダクトを生み出し、世界に先駆けた事例を、一緒につくりませんか？

3. SDGsに貢献

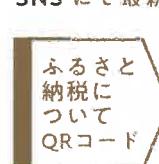
OSAKINI プロジェクトでは環境配慮型のプロダクトや仕組みの構築を通じて、SDGs の達成にも寄与しています。OSAKINI プロジェクトへの寄附を通じて、SDGs の達成に貢献することができます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

プロジェクト・寄附のお問い合わせ

大崎町役場 企画政策課

〒899-7305 鹿児島県曾於郡大崎町仮宿 1029 番地
TEL : 099-476-1111
kikaku@town.kagoshima-osaki.lg.jp



SNS にて最新情報を更新中！

